

会派視察報告書

日本共産党大崎市議会議員団調査活動概要報告書

令和2年3月3日 提出

1. 視察概要

| | |
|--------------|--|
| 委員会名 | 日本共産党大崎市議会議員団 |
| 委員名 | 小沢和悦、鎌内つぎ子、木内知子、遊佐辰雄、 |
| 日時 | 令和2年2月3日～4日 |
| 視察先 | 1、茨城県ひたちなか市、2、栃木県下野市、3、栃木県大田原市 |
| 出席者 (説明者) | 1、ひたちなか市議会事務局長、黒沢博、企画調整課長兼公共交通政策室長、神永明、企画調整課主事、清水栄伸 2、下野市議長、秋山幸男、市民生活部長、山中利明、安全安心課長、関久雄、主幹、小野洋一、副主幹、大森かおり、議会事務局議事課長補佐、篠崎正代、 3、大田原市教育委員会教育総務課長、大森忠夫、総務係長、伊東佳子 |

2. 視察内容

| | |
|--------|--|
| 視察項目 | 1、ひたちなか市、市内公共交通システム、スマイルあおぞらバス運行について 2、下野市、デマンド交通について、 3、大田原市、学校給食費無料化について、 |
| 視察内容 | 1、ひたちなか市、スマイルあおぞらバス運行について |
| 【質疑応答】 | ①運航の経過と状況 (1)路線バスの減便、廃止により、市内をくまなく回るバス路線不在に (2)平成14年度、「市公共交通問題研究会」設置 (3)平成17年度、コミュニティー導入決定 (4)平成18年10月21日、2コースで運行開始、19年、5コースに拡大、20年11月、双方向運行開始 (5)平成24～30年度、バスの入れない地域3コースワゴン車で運行開始 ②料金と利用状況、財政措置 (1)料金1回100円、但し、身障手帳等所持者と介助者は半額、免許証自主返納高齢者は、1年間無料 (2)利用状況、2コース(10,210人)、5コース(70,426人)、6コース(152,930人)、8コース(193,344人) (3)財政措置、令和元年度予算—収入見込17,369千円、経費見込130,079千円、委託料見込112,710千円、 ③今後の課題と見通し (1)地理的状況からデマンドはできないが、停留所を300m以内に設置し |

ている。(400ヶ所程ある)

(2)無料乗車期間を設け、小中学生に乗車体験をしてもらっている。
平成30年度には、利用者が720人。

[その他事項]

福島第一原発事故で発生した農林業系廃棄物飛灰の保管庫を視察してきた。180㎡の保管庫に152tが保管されていました。

2、下野市、デマンドバス「おでかけ号」運行について

①運行経過と状況

(1)経過、

平成18年10月、議会での一般質問を受け止め、市内循環バス運行等庁内検討委員会設置(庁内8名)、

平成20年7月、市内循環バス運行検討プロジェクトチーム設置、

平成23年4月、車両購入契約(10人乗りハイエース3台)、

平成23年11月、運行開始

(2)利用者数及び登録者数

平成23年(3,576人)、26年(28,668人)、30年(22,401人)

平成30年登録者数3,662人

②料金

(1)大人300円、小人200円、未就学児 0円

(2)免許自主返納高齢者 回数券11枚2冊贈呈

(3)80歳以上 10回分乗車券交付

(4)未就学児をもつ子育て世帯 申請により10回分交付(3月末日期限)

③財政状況(平成30年度)

(1)運賃収入以外の負担と財源

国庫補助金 5,211千円、市負担、

(2)運行委託料(関東交通株) 24,484千円、

3、大田原市、学校給食費無料化について、

①無料化施策の経過と背景

(1)直接的きっかけは平成22年3月、市長選挙で当選した候補者の選挙公約

(2)だけど、すぐ始めたのではなく「事業仕分け」を実施、

イ、前市長時代策定の再開発ビルを13階から7階に変更を行った
ロ、「記念樹の森」(64ha)用地買収を白紙化

(3)平成22年4月1日 月額100円補助でスタートし、10月、300円に

23年4、1より全額無料を目指していたが、3・11東日本大震災の発生により、財政対策上2,000円補助に

24年10, 1 完全無料化

(4)学校給食法との関係で、無料化して良いか否かの問い合わせを文部科学省に行い、問題ないとの回答を得ている。(平成22年度)

②反対意見の有無と現在の評価

(1)議員の中には、親が負担すべきと当初反対した議員はいたが、現在は、この関係を理由に予決算に反対する議員はいない。

③予算と今後の見通し

(1)令和元年度、小中学校給食費完全無料化予算は254,300千円、

(2)食育教育と子育て支援として、完全無料化をしているという趣旨をしっかりと認識してもらう努力が今後とも必要。

考 察

【所感・課題
・提言等】

記録委員

3ヶ所いずれも素晴らしい取り組みであり、本市でも見習って少しでも市民サービス向上のため努力されるよう、私たちもしっかり提案して実現できるよう引き続き奮闘していきます。

小沢 和悦